

2022 年におけるコウナゴ漁期前調査結果について

令和 4 年 3 月 18 日

福島県水産海洋研究センター

1 丸稚ネット調査

福島県では丸稚ネット（図 1）によるコウナゴの漁期前調査を 1986 年から実施しています。2022 年は関係漁協の協力の下、漁船により調査を実施しました。相馬、請戸、いわき海域のいずれも昨年に引き続き仔魚の採捕状況は低調となっています（図 2）。

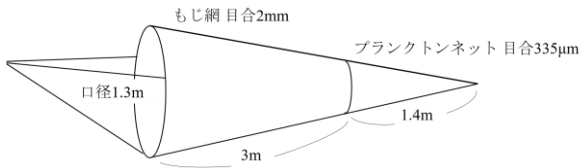


図 1 丸稚ネット模式図



図 3 丸稚ネットで採捕されたコウナゴ

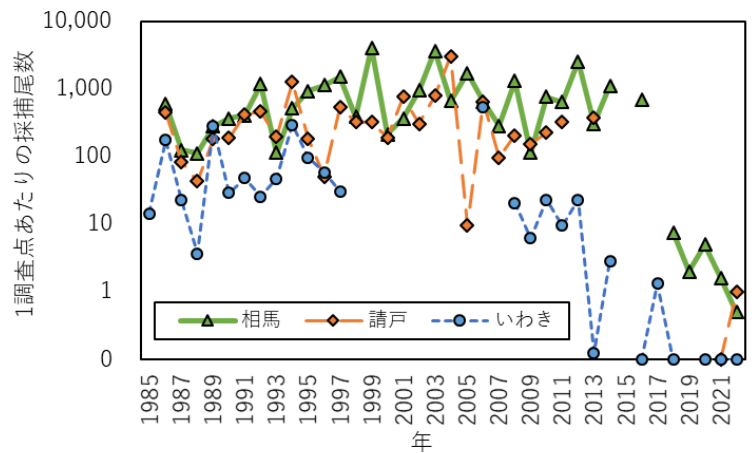


図 2 丸稚ネットによる仔魚採捕尾数推移
(1～2月の平均値)

2 新稚魚ネット調査

調査指導船いわき丸で新稚魚ネット（図 4）によるコウナゴの漁期前調査を行いました。新稚魚ネットによる採捕尾数は変動が大きいものの、コウナゴが不漁となった 2019 年以降は低調に推移しており、2022 年の採捕状況も引き続き低調でした（図 5）。

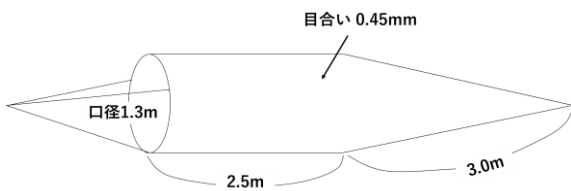


図 4 新稚魚ネット模式図

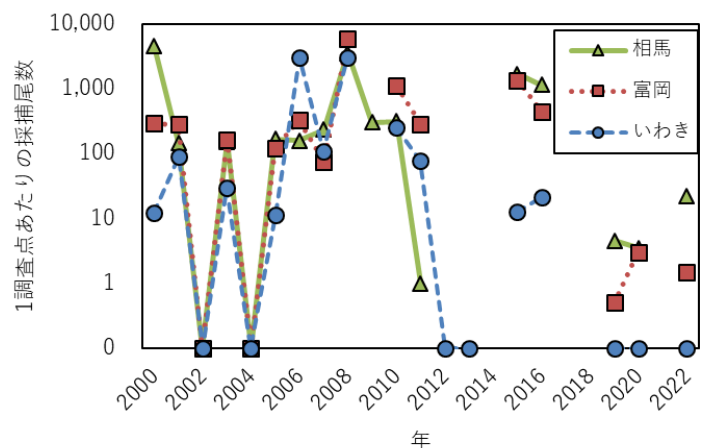


図 5 新稚魚ネットによる仔魚採捕尾数推移(2月)